

# 受 診 届

学 校 名	石 川 県 立 鹿 西 高 等 学 校
学年・組・番号・氏名	年 組 番 氏名
受 診 医 療 機 関	
診 断 名	
受 診 日	年 月 日
療 養 日 数	年 月 日 ~ 年 月 日 ( 日 間 )
上記のとおり、受診・療養しました。  (補足事項: _____ )  <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-end;"> <span>年 月 日</span> <span>保護者氏名 <span style="float: right;">(印)</span></span> </div>	

※この届は、学校において予防すべき感染症による出席停止の際に使用します。  
 ※医療機関からの次のいずれかの写しを添付してください。できるだけ、診断名がわかる①～③をお願いします。

- ①感染症の検査の結果
- ②薬の説明書：薬の効能・効果に診断名が記されているもの
- ③医師の指示書：本人の名前と診断名が記載されているもの
- ④診療明細書・領収書等

**参考：学校において予防すべき感染症 ( 主なもの )** (学校保健安全法施行規則第 18 条・19 条)

疾病名	出席停止の期間	潜伏期間	感染源となる主な期間	
第一種	治癒するまで			
第二種	インフルエンザ	発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで	1日～2日	発熱1日前から3日をピークとし7日まで
	百日咳	特有の咳が消失するまで	7日～10日	咳が出てから4週目頃まで
	麻疹	解熱後3日経過するまで	8日～13日	発熱出現前日から解熱後3日を経過するまで
	流行性耳下腺炎	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が始まった後5日を経過し、かつ、全身状態が良好となるまで	12日～26日	耳下腺などの唾液腺が腫脹する1～2日前から腫脹5日後まで最もウイルス搬出が多い
	風疹	発疹が消失するまで	14日～21日	発疹出現7日前から出現7日後まで
	水痘	すべての発疹が痂皮化するまで	13日～17日	発疹出現1～2日前からすべての発疹が痂皮化するまで
	咽頭結膜炎	主要症状が消退した後2日経過するまで	2日～14日	ウイルス排出は初期数日が最も多い
	結核	病状により学校医またはその他の医師において感染のおそれがないと認められるまで		
	髄膜炎菌性髄膜炎			
その他	溶連菌感染症	治療開始1日後、全身状態が良ければ	2～5日	適切な治療薬療法で24時間以内に他への感染症消失
	感染性胃腸炎	下痢・おう吐症状が回復した後、全身状態が良ければ	1～3日	急性期の感染力が強い。回復後も数週間便からウイルスが排出されることがある。
	マイコプラズマ肺炎	症状が改善し、全身状態が良ければ	2～3週間	症状がある間がピーク

※第二種・・・症状により学校医その他の医師において感染の恐れがないと認めるときは、この限りではない。  
 ※その他の感染症は学校で通常見られないような重大な流行が起こった場合に、その感染拡大を防ぐために、必要がある時、校長が第三種の感染症の措置をとることができる。